



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月11日

上場会社名 株式会社アズジェント 上場取引所 東  
 コード番号 4288 URL <https://www.asgent.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 隆洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 葛城 岳典 TEL 03-6853-7401  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,674	9.1	22	—	32	—	25	—
2019年3月期第2四半期	1,533	△27.9	△155	—	△157	—	△154	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	6.76	—
2019年3月期第2四半期	△40.41	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,222	1,520	68.4
2019年3月期	2,261	1,500	66.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,520百万円 2019年3月期 1,500百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年3月期の業績予想につきましては、現時点では当社として合理的な算定・予想を行う事が出来ておりません。開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	3,815,734株	2019年3月期	3,815,734株
2020年3月期2Q	111株	2019年3月期	85株
2020年3月期2Q	3,815,630株	2019年3月期2Q	3,815,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国経済は、引き続き堅調な雇用・所得環境や内需に支えられ穏やかな景気回復が続くものの、米中貿易摩擦等の激化による世界経済の不確実性や消費税率の引き上げを控えての消費への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ネットワークセキュリティ業界においては、国内外における政府機関や重要インフラ等へのサイバー攻撃の頻発を受け、2020年の東京五輪開催を見据えた対策強化の動きが顕在化してきました。また、政府による未来投資戦略を受け、デジタル・ガバメントの推進のための旗艦プロジェクトとしてデジタル手法が成立する等、サイバーセキュリティ対策は国民生活や社会経済活動の観点からますます重要な課題となっております。

このような環境の下、当社は、飛躍を図るべく、次代を先取りしたオンリーワン商品の投入と、当社セキュリティ・ノウハウを組み合わせたハイブリッド型サービスビジネスを加速させると共に、これまで培ってきたイスラエルとのコネクションを生かした投資育成事業を推進させることに注力しております。また、公共やエンタープライズ向けのITセキュリティ分野に加え、全く新しい市場が立ち上がるコネクテッドカー及びIoT分野を含めたセキュリティ市場を対象に、グローバルな新潮流を体現した独自のポジショニングの確立を図ります。その上で、経営スローガンである「One Step Ahead of the Game ～ その一手先へ」を掲げて、経営理念を軸とした理念経営を推進していくことで、中長期的な成長基盤を確実なものとしします。

主な活動内容としては、これまでの取り組みを継続しセミナーの開催や各種展示会への出展を積極的に行うなど、当社取扱商品の拡販活動を推進して参りました。近年取扱いを開始した製品の導入実績も出始めており、主力製品に育成できるよう、引き続き拡販活動を継続して参ります。また、コネクテッドカー/IoT関連セキュリティ製品でも、Karamba社のCarwall®がアルパイン社の車載インフォテインメントシステムにセルフプロテクション機能を提供することや、Upstream社が自動車メーカー等数社から投資ラウンド シリーズBにおいて資金調達ができること等、今後に繋がる動きが活発化してきております。

業績につきましては、プロダクト関連においては既存取扱製品の販売が堅調に推移したことに加え、サービス関連においても従前より取り組んできた品質向上や体制強化の効果が開始してきたこともあり着実にストックが増加し、売上高は1,674百万円(前年同期比9.1%増)となりました。売上が堅調に推移し売上総利益も伸長した一方、コストについては、中期経営計画の達成に向けた施策を加速させるための人員体制強化については必要最小限に止めつつ、前期まで発生していたサービス事業におけるシステム移行に伴う設備投資による運用コストの二重負担が解消されるなど、経費節減に努めたことで販売費及び一般管理費は669百万円(前年同期比10.4%減)となりました。その結果、各段階利益につきましては、営業利益22百万円(前年同期は155百万円の営業損失)、経常利益32百万円(前年同期は157百万円の経常損失)、当期純利益25百万円(前年同期は154百万円の当期純損失)となり、黒字転換いたしました。

なお、当社では事業セグメントをネットワークセキュリティ事業のみとしております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額は2,222百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が40百万円、未収消費税等が23百万円及び工具、器具及び備品が22百万円減少した一方、投資その他の資産が63百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は701百万円となり、前事業年度末に比べ59百万円減少しました。これは主に、買掛金が62百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は1,520百万円となり、前事業年度末に比べ20百万円増加しました。これは主に、四半期純利益25百万円の計上があったことなどによるものであります。その結果、自己資本比率は68.4%となり、前事業年度末比で2.1ポイント増加しております。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月8日付「2019年3月期決算短信(非連結)」にて公表した業績予想は、未定から変更はありません。

現状、プロダクト関連及びサービス関連共に前年対比で受注が伸長しております。一方で、厚労省をはじめとした公共セクターにおける大型案件においては当事業年度後半から調達が始まりつつありますが、現時点においては獲得規模や金額の想定が難しい状況です。

業績予想の開示が可能となった時点で、適宜速やかに開示致します。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	905,468	865,092
売掛金	705,053	690,598
商品及び製品	59,968	50,317
仕掛品	1,097	5,924
貯蔵品	610	738
前渡金	—	9,350
前払費用	30,063	26,712
未収消費税等	23,275	—
その他	367	7,934
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	1,725,891	1,656,654
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	33,419	31,924
工具、器具及び備品(純額)	208,373	185,785
土地	1,854	1,854
有形固定資産合計	243,646	219,564
無形固定資産	26,018	16,250
投資その他の資産	265,926	329,774
固定資産合計	535,591	565,589
資産合計	2,261,482	2,222,244

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	177,977	115,129
短期借入金	200,000	200,000
未払金	87,857	62,060
未払費用	49,967	42,651
未払法人税等	9,692	16,711
未払消費税等	—	30,519
前受金	31,049	23,374
預り金	13,178	7,109
前受収益	22,035	26,209
賞与引当金	59,452	62,954
その他	762	786
流動負債合計	651,972	587,506
固定負債		
退職給付引当金	109,235	113,789
固定負債合計	109,235	113,789
負債合計	761,208	701,295
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	771,110	771,110
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	27,593	53,377
自己株式	△252	△305
株主資本合計	1,503,651	1,529,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,376	△8,434
評価・換算差額等合計	△3,376	△8,434
純資産合計	1,500,274	1,520,948
負債純資産合計	2,261,482	2,222,244

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,533,956	1,674,239
売上原価	942,409	982,226
売上総利益	591,546	692,012
販売費及び一般管理費	747,075	669,303
営業利益又は営業損失(△)	△155,528	22,709
営業外収益		
受取利息	11	31
受取配当金	—	9,627
為替差益	—	1,134
その他	3,598	2,625
営業外収益合計	3,609	13,418
営業外費用		
支払利息	693	713
為替差損	1,760	—
投資事業組合運用損	3,202	2,932
その他	156	70
営業外費用合計	5,814	3,716
経常利益又は経常損失(△)	△157,733	32,411
特別利益		
固定資産売却益	2	367
新株予約権戻入益	2,240	—
特別利益合計	2,242	367
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△155,490	32,779
法人税、住民税及び事業税	1,146	8,101
法人税等調整額	△2,451	△1,106
法人税等合計	△1,304	6,995
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△154,186	25,783

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△155,490	32,779
減価償却費	64,760	55,582
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,489	3,502
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,908	4,553
受取利息	△11	△31
受取配当金	—	△9,627
支払利息	693	713
為替差損益 (△は益)	△690	△109
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,202	2,932
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△367
新株予約権戻入益	△2,240	—
売上債権の増減額 (△は増加)	40,943	14,454
たな卸資産の増減額 (△は増加)	46,499	4,695
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,581	△62,848
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,294	30,519
未収消費税等の増減額 (△は増加)	15,370	23,275
前渡金の増減額 (△は増加)	—	△9,350
未払金の増減額 (△は減少)	△31,544	△18,260
その他	34,776	△14,745
小計	47,541	57,669
利息及び配当金の受取額	11	5,126
利息の支払額	△669	△673
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	21,412	△2,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,296	59,826
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20,529	△29,268
有形固定資産の売却による収入	7	367
投資有価証券の取得による支出	△7,583	△71,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,105	△100,258
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△45	△52
配当金の支払額	△9,464	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,510	△53
現金及び現金同等物に係る換算差額	690	109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	31,371	△40,376
現金及び現金同等物の期首残高	882,336	905,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	913,708	865,092



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。